

特定非営利活動法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク
2008 年度活動報告（2008 年 9 月 1 日～2009 年 8 月 31 日）

1. 組織体制

同志社大学産官学連携支援ネットワーク役員一覧

理事長：八田英二（同志社大学長）

副理事長：五島 洋（弁護士：飛翔法律事務所）

理事：岩淵貴史（公認会計士：監査法人トーマツ）

抱 厚志（(株)エクス代表取締役社長）

片山傳生（同志社大学副学長）

眞下晋一（弁理士：三枝国際特許事務所）

松本敏史（同志社大学商学部教授）

中居成子（(株)ハート・アンド・キャリア代表取締役）

小川佳秀（宝印刷(株)営業部長）

大谷康弘（公認会計士：(株) 関西ベンチャーインキュベーター代表取締役）

田中 譲（英国国立ウェールズ大学経営大学院 MBA〈日本語〉プログラム
アカデミック・ディレクター）

和田 元（同志社大学研究開発推進機構長）

辻内伸好（同志社大学リエゾンオフィス所長・知的財産センター所長）

脇本裕正（三井住友海上火災保険株式会社 インシュアランス・コンサルタント）

監 事：稲津喜久代（司法書士：あおぞら司法書士法務総合事務所）

小田嶋淳（社会保険労務士：こころざし総合事務所）

2. 会員数（2009 年 8 月 31 日時点）

個人：正個人会員	64 人	賛助個人会員	2 人	合計	66 人
団体：正団体会員	13 団体	賛助団体会員	4 団体	合計	17 団体

ご参考までに（2008 年 8 月 31 日時点）

個人：正個人会員	80 人	賛助個人会員	5 人	合計	85 人
団体：正団体会員	11 団体	賛助団体会員	5 団体	合計	16 団体

※団体会員が微増の一方で、個人会員が減少しておりますが、来年度の方向性として皆様にご提案申し上げます学生会員制度の新設などで個人会員獲得に向けて動くと共に、法人会員の益々の充実も図る所存です。

3. 活動内容

① 研究会活動

「同志社大学産官学連携支援ネットワーク」では、“産官学連携に関する研究会等の開催事業”の一環として以下の研究会を立ち上げています。また、会員の皆様が自由な発想で研究会を立ち上げ、自主的な活動を展開することを目的とした「自主研究会」が新たに活動を始めています。

◇プロジェクト科目推進研究会 ※自主研究会報告

同志社大学の産学連携NPOである以上、教員の皆様と産学連携を進めていくのは当然ですが、「学」は教員と学生からなるものですので、学生との連携も図りたいところです。

そこで、学生が主体的に事業に参加して進める体験型授業のプロジェクト科目に、本NPOからも授業を提供しておりました。

今年度は、この流れを一層本格化し、本研究会で授業の内容を協議する段階から始めました。協議の結果、新進のベンチャー企業であり広告代理店のケシオン殿に対象企業となって貰い、同社の代表取締役から「利用者が減少して困っているスキー場が多い、そうしたスキー場に利用者を取り戻すプランについて広告を絡めて考えよ。」という面白くも難しい課題を出して頂きました。

その課題を解決するため、本NPO所属の会社経営者・弁理士・公認会計士・弁護士らが授業を行い、対象会社の代表取締役・従業員にも何度も協力して頂きました。こうした授業の結果、本当に素晴らしいプランを発表することができ、学生の方々が達成感を持つことができる成功に至りました。

来年度も素敵なプランが予定されていますが、まだ詳細まで詰めきっていません。会員の皆様、一緒に考えませんか。学生に提供する授業を考えるなんて、素敵な機会だと思いませんか。

◇士業研究会 ※自主研究会報告

本NPOには多くの士業の方々が参加されています。そこで当研究会ではNPO会員の士業に対する要望の取りまとめを行い、NPOを通じて集まった士業メンバーの交流の場を増やすことで、会員間のネットワークを強化したいと考えています。また、同業者・同業者以外の知り合いを増やすことで、NPOの活動を支援することに加えて、自らの仕事にもプラスの効果が期待できる場となればと思っています。

今年度の具体的な活動としては、定例会の開催は3ヶ月に1度と昨年度よりも少なくしましたが、ベンチャーキャピタルの方を交えての勉強会やD-egg入居企業とのディスカッションを臨時で開催し、研究会員相互の交流だけでなく、外部との交流につとめました。

次年度の活動としては、今年度に引き続き研究会以外の方との交流の促進や、士業研究会メンバーのノウハウを外部に提供することでベンチャー企業や中堅・中小企業の成長に寄与できるような仕組みを構築していくことを考えています。

この研究会に興味のある方であれば、士業であるか否かに関わらず参加を歓迎します。

◇会員交流促進研究会活動 ※自主研究会報告

本年3月以降7月までの期間、集中的に研究会を開催しました。

会員の皆様にアンケートのご協力をお願いし18件のご回答を頂き、これを研究会で検討し、次のような仕組みを設けていくことを研究会で提案することとなりました。

- ・Webでの法人会員、個人会員紹介ページの作成

※これらを含めホームページ機能の抜本的見直しの提案

- ・新設予定の学生会員によるプロジェクトの発足を促進する。

Webサイトの見直しにつきましては昨年度よりの継続課題となっていますので会員相互の情報交換が出来る仕組み作りを念頭に再構築の検討を指示しています。

また、学生会員が新設されることに伴い、新商品開発などの学生プロジェクトを積極的に手がけていくことを確認しました。

これは昨年実施した「同志社ブランド・文化資源を活用した産学連携研究会」にも通ずるものであり法人会員企業と学生のプロジェクト形成をNPOとして促進していこうというものです。

更に寺島実郎氏を議長として設立準備作業中の「アジア太平洋研究所推進協議会」との連携について先方事務局次長（同志社大卒）と情報交換を重ねています。

◇大学発ベンチャー認定制度研究会活動 ※自主研究会報告

「大学発ベンチャーは、大学ブランドをうまく活用することで企業および大学の双方にメリットとなる一方、企業自体や企業が提供する製品・サービスにトラブルがあると、大学ブランドの毀損を招くおそれがあります。

本研究会は、本年度から活動を開始した新しい研究会であり、金融関係、コンサルタント、大学教授、インキュベーションマネージャー、土業など多種多様な方々が集まり、大学発ベンチャーの認定制度が目指すものや、認定制度がもたらすメリット・デメリットなどを議論しました。

今後、本研究会としましては既存の大学発ベンチャーに対する認定制度のあり方について土業研究会と合流し、D-egg 入居企業への集中的な支援業務を行っていく中で検証を行っていきます。また、これまでに本研究会で検討した課題につきましては今後の「社会起業家塾（仮称）」へ反映していく予定であります。

◇同志社大学メセナ産学連携研究会 ※自主研究会報告

NPO 法人会員である丹波ワイン株式会社様、同志社生活協同組合などとの連携により、「京丹波特産品のブランド化による地域活性化―農畜産物生産者と若者による食文化ネットワークの構築―」という内容で京都府の「平成19年度地域力再生プロジェクト支援事業」に採択されて以降、京丹波地域の活性化にむけた様々な取り組みを地元生産者の方々とともに展開してまいりました。

平成20年度、21年度と3年間に渡って採択を受けてきた本事業も今期で京都府からの助成金は最終年度となるため、地元での自立的、継続的な活動を行っています。その内容は京都新聞などに取り上げられています（添付の資料を参照ください）。

これら一連の活動を通じて 地域で地域を支える人材の発掘、育成が最も重要な内容であるとの結論に達し「社会起業家塾（仮称）」へと繋げていく予定です。

②地域活性化活動

京都府が推進する「緊急雇用対策基金 NPO 提案型事業」で当 NPO の提案が採択を受けました。

具体的な内容につきましては昨年度、同志社大学で実施した「京都ブランド商標」に関する調査対象50件につき産学連携を希望する団体と協議を行い、NPO 所属の教員、学生ならびに専門家とで3～4のプロジェクトを発足します。

各プロジェクトにおいては学生による新商品・新サービスの企画・販売、教員との連携においては地域ブランド化の手法についての研究、マーケティング手法の研究など、また専門家との連携においては「農商工連携」など支援施策への申請サポートまでを支援します。

実施方法については調査時に連携を希望する旨回答のあった団体と個別にマッチングを行い、以後は研究会形式で定期的な会合、実地調査などを行っていくというものです。

本件を実行するにあたり新たに専属スタッフの採用を行い、1名を採用しました（但し、自己都合で10月31日付けにて退職されました。後任の方については現在、選定中です）

③イベント一覧

日時	場所	内容	講師
2008 年 10 月 11 日	京丹波町 公民館	平成 20 年度京丹波プロジェクト ～まめおやの会～ 枝豆・さつまいもの収穫と京丹波 の旬の食材を利用した料理教室の 開催	農業指導 野口文雄氏 料理教室 京丹波町「料理サークルすみれ」
2008 年 11 月 8 日 14:30 ～17:00	マイドーム大阪	同志社コラボネット (LCC 主催、NPO 共催) 「健康管理とアンチエイジングの すすめ」 「老化の弱点探しとその対策」	同志社大学生命医科学部 アンチエイジングリサーチセンター教授 米井嘉一氏
2008 年 11 月 3 日	馳走いなせや (京都市中京区)	京都市内で京丹波の食材を使った 料理を提供する「うまい 丹波」 (出張京丹波レストラン)	同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授 山口洋典氏
2008 年 11 月 5 日	京都工業会館	京都産学公連携フォーラム 2008 (京都工業会主催、NPO 後援)	同志社大学 生命医科学部教授 仲町英治氏 同志社大学 理工学部教授 出口博之氏
2008 年 11 月 24 日	京丹波おおさき ファーム(京丹波 町)	平成 20 年度京丹波プロジェクト ～まめおやの会～ 葉落とし・枝切り・乾燥準備	有限会社オアシスランド 大崎克巳 氏
2008 年 12 月 14 日	京丹波おおさき ファーム(京丹波 町)	平成 20 年度京丹波プロジェクト ～まめおやの会～ 黒豆収穫	有限会社オアシスランド 大崎克巳 氏
2008 年 12 月 16 日	同志社大学 京田辺キャンパ ス(情報メディア 館)	けいはんな交流会 (京都府中小企業技術センター、京都 産業 21、枚方市地域活性化支援 センターほか、NPO も共催)	本 NPO 副理事長 五島洋 同志社大学リエゾンオフィス所長 辻内伸好氏 同志社大学生命医科学部教授 積際徹氏 同志社大学理工学部教授 三木光範氏
2009 年 4 月 23 日 18:30 ～20:00	経営支援プラザ UMEDA	「EXIT から見たベンチャー支援」 ※関西 IM ネットワーク協議会と 士業研究会の共同開催	NEC ビッグロームキャピタル株式会社 原氏
2009 年 1 月 12 日	同志社大学 今出川キャンパ ス(生協食堂)	平成 20 年度京丹波プロジェクト 京丹波の食のレトルト食品開発 (試食会)	
2009 年 2 月 23 日	同志社大学(今出 川)寒梅館地下 A	同志社大学 2008 年度戦略展開プロ グラム中間報告会 (NPO 後援)	
2009 年 3 月 17 日	丹波ワインハウ ス (京丹波町)	平成 20 年度京丹波プロジェクト 京丹波の食のレトルト食品開発 (試食会)	
2009 年 5 月 16 日	同志社大学 今出川キャンパ	「KNS in DOSHISHA」 「NPO 産官学連携支援ネットワー	(同志社大学関係分のみ抜粋掲載) 五島洋 弁護士 NPO 同志社大学産官学連携支

13:30 ～19:30	ス クラーク館 2階チャペル 寒梅館 208号教室ほか	クの説明」他 「ラオスに小学校を!!～携わる全 て人の笑顔のために～」 「食材のオーナー制度商品の企 画・運営」 「ふるさと野菜のおすそ分け事 業」 「要介護者への旅行支援サービス について」	援ネットワーク副理事長 桑原真明氏 学生国際協力団体 SIVIO 関西代表 (同志社大学文学部英文学科2回生勝山ゼミ) 田中淳士氏 食一(同志社大学商学部) 高田実氏 有限会社 篠ファーム 佐野恵一氏 株式会社旅のお手伝い楽楽 (同志社大学大学院総合政策科学研究科 博士前期課程)
2009年 6月28日	丹波ワインハウ ス(京丹波町)	平成21年度京丹波プロジェクト ～まめおやの会～ 苗の定植	有限会社オアシスランド 大崎克巳 氏

④ベンチャー支援

・経営支援相談室における起業相談

昨年に引き続き、田中理事による起業相談が行われました。

アドバイザー：田中譲(NPO理事)

・「同大・京銀ベンチャー支援会議」に参画

同志社大学と株式会社京都銀行は共同で、産学連携をさらに発展・充実させ、ベンチャー支援をよりいっそう推進していくため、「同大・京銀ベンチャー支援会議」を設置しており、その委員会メンバーとなっています(委員会事務局はNPOが担当)。当研究会の役割の一つは昨年1月に立ち上げた「京都・同志社発ベンチャー育成ファンド」への企業の推薦などを行うことです。

(その他に、同志社大学は池田銀行との連携協定による「池銀キャピタル夢仕込ファンドD/I投資事業組合」を組織し、投融資制度を持つ)

・第5回同志社大学ビジネスプランコンテスト(2008年12月20日)

- ・法人会員である(株)池田銀行、(株)南都銀行が協賛。
- ・校友会大阪支部・LLCが協賛。

⑤同志社校友会大阪支部産学連携部会(LCC)との連携 *Liaison Clover Club

LCCとは産学連携事例研究会(同志社コラボネット)を共催いたしました。

2008年11月8日開催

同志社コラボネット(LCC主催、NPO共催)

⑥広報活動

- ・リーフレット作成
- ・オリジナル封筒作成

- ・メールマガジンの発行（会員、非会員に関わらず、月に１度程度発行）No.42～No.49
- ・ホームページによるPR（<http://www.doshisha-net.org/>）
- ・イベント開催によるPR活動

以 上